

国語科学習指導案

I 単元 きょうみをもったことをしょうかいしよう (『ウナギのなぞを追って』)

II 考察

1 教材観

(1) 育成を目指す資質・能力

(3) 学びに向かう力・人間性等

文章の中から自分の興味のあるところを見付けたり、友達と考えを伝え合いながら、より意図に合うように内容をまとめたりしようとする態度。

(1) 知識・技能

文章中のキーワードの選び方や、要約の仕方についての知識・技能。

(2) 思考力・判断力・表現力等

知識・理解を基に、文章の全体を捉えながら自分が興味をもったところに関わる叙述を選び、それらを簡潔にまとめる力。

(2) 学習内容：学習指導要領上の位置付け

C読むことーエ 目的や必要に応じて、文章の要点や細かい点に注意しながら読み、文章などを引用したり要約したりすること。

(3) 単元の価値

本単元では、説明的な文章である『ウナギのなぞを追って』(光村4下)を用い、自分が興味をもったところを中心に文章を要約し、友達と紹介し合う活動を行う。その価値は以下のとおりである。

本学級の子どもたちは、日常生活や学習の中で、自分が興味をもったところについて友達に伝えたり、友達の興味をもったところを伝えてもらったりすることに喜びを感じる人が多い。その反面、子どもたちが伝える情報は特に印象に残ったことに関するものだけであることも多い。自分が興味をもったところを友達に伝える目的をもって、文章の要約を交えて紹介文を書くことは、子どもたちが意欲をもって学習に取り組めるとともに、文章の全体を捉え、それを簡潔にまとめながら読む力を育む上で適した活動であると言える。

本教材は、長い間分かっていなかったウナギの生態が、筆者も参加する調査活動によって次第に明らかになってくる様子が書かれたものである。うなぎの赤ちゃんであるレプトセファルスが海流に運ばれやすいという特徴を手がかりに、長い時間をかけて産卵場所にたどり着く過程が、西暦や体長などの具体的な数字や、複数の写真・地図等を用いて記述されており、子どもたちがウナギの調査や生態等の話題について、詳しい様子を捉えながら興味をもって読める内容となっ

ている。また、子どもたちが興味をもてる複数の話題があるという点から、自分が興味をもったテーマを中心にし、大事な言葉であるキーワードを見付けたりしながら要約するのに適している文章であると言える。

(4) 今後の学習

ここでの学習は、5年「筆者の考えの進め方を捉えよう」(『見立てる』『生き物は円柱形』)における、目的に応じて要旨を捉えたり、筆者の考え方や文章の書き方について、自分の考えを明確にしたりしながら読む学習へと発展していく。

2 児童の実態及び指導方針

子どもたちは、4年「分かりやすい説明の仕方を考えよう」(『アップとルーズで伝える』)において、目的に応じて、段落の役割や関係を捉えて読む学習に取り組んできた。この学習の中で明らかになった、子どもたちの実態及び本単元を進めるにあたっての指導方針は、次のとおりである。

(1) 指示語や接続語が文や段落の関係を示す手がかりになることを理解してきている。このような子どもたちが、段落ごとのキーワードを見つけた上で、それらを文章の展開に沿ってつなげたり、短くまとめたりするという要約のポイントを理解できるよう、既習の説明文を用いて要約練習をする活動を設定する。

(2) 段落の中心となる語に着目して、段落相互の関係を捉えながら説明的な文章を読むことができるようになってきている。このような子どもたちが、自分が興味をもったところに関わる叙述を引用したり、短く言い換えたりしながら文章を要約することができるよう、「キーワードを見付ける」「本文の流れを生かしてキーワードをつなげる」という要約の方法を提示し、教室内で常に確かめられるように掲示しておく。

(3) 友達と考えを伝え合いながら、友達と写真と文章とを対応させて、説明的な文章を進んで読もうとすることができていた。このような子どもたちが、文章の中から自分の興味のあるところを見付けたり、友達と考えを伝え合いながら、より意図に合うように内容をまとめたりしようとすることができるよう、自分が興味をもったところを中心に書いた要約文について、友達と読み合っただけアドバイスし合う活動を設定する。

Ⅲ 目標及び評価規準

Ⅳ 指導計画 ※Ⅲ・Ⅳについては、指導と評価の計画参照

Ⅴ 本時の学習

1 ねらい 作成した要約文を友達同士で読み合い、要約のポイントを基にアドバイスをし合う活動を通して、自分の作成した要約文の改善点やその修正方法に気付くことができる。

2 準備 本文プリント 要約のポイントを示した掲示物 要約文を書いた学習プリント
改善案を書くメモプリント

3 展開

学習活動と子どもの意識	指導上の留意点
1 本時のめあてをつかむ。	○前時の学習を想起できるよう、掲示してある

- ・自分は、「ねばり強く研究を続けているところ」をテーマに、年号の数字をキーワードにして要約文を書いてみたよ。
- ・友達の要約文は、テーマに沿って上手にまとまっていないように感じるな。
- ・自分の書いた要約文はこれで大丈夫なのかな。友達の考えを聞いてみたいな。

2 友達の要約文を読んでアドバイスをする。

- ・自分と同じテーマにした友達は、どんなふう
に要約したのかな。
- ・自分は年号の数字をたくさんキーワードにして要約文を書いたけど、友達は全く数字を使わずに書こうとしたのだな。
- ・自分みたいに数字が多くなくて読みやすいけれど、数字が全くないとねばり強さが伝わりにくいのではないかな。
- ・長い時間をかけてねばり強く研究を続けたことがよく伝わるよう、「三十六年の年月」という言葉を付け足すといいのではないかな。
- ・自分の要約文は、年号などの数字が細かく書き過ぎてあって、かえって分かりにくくなっているのか。
- ・塚本さんが調査に加わった「一九七三年」と、たまごを見つけた「二〇〇九年」の2つの年号にしぼって、他は「長い時間をかけて」という言葉でまとめて書くと分かりやすいのではないかな。

3 本時の学習を振り返る。

- ・調査した年を全部書かずに、特に重要な年を残すことで、より大事な点だけ伝えられるね。
- ・次回はアドバイスを生かして、要約文を直してみよう。

要約のポイントに触れて、要約文作成で気を付けたことを発表するよう促す。

- 友達からのアドバイスを基に、自分の書いた要約文のよい点や改善点を見付けるという学習の見通しをもてるよう、子どもの書いた要約文を複数例示し、よい点や改善点を問いかける。
- 同じテーマで要約文を書いた体験を基に友達同士でアドバイスし合えるよう、自分と興味をもったテーマが同じ友達とペアになって要約文を読み合うよう促す。
- 観点を明確にもってアドバイスし合えるよう、要約のポイントを示した掲示物を確かめながら友達の要約文を読むよう促す。
- 要約文のよい点や改善点を具体的にアドバイスすることができるよう、ペア同士で要約文を比べながら読み、共通点や相違点を指摘し合うよう促す。
- 改善点に対しての修正方法を考えられるよう、ペアで相談しながらメモプリントに具体的に修正した言葉を書くよう促す。

評価項目

要約文のポイントや本文の内容を関わらせながら、自分の要約文の改善点を発言したり記述したりしている。

< 発言・メモプリント (2) >

- 学習の成果を実感できるよう、ペアで要約文を読んでアドバイスをし合った感想を問いかける。
- 次時の見通しをもてるよう、ペアの友達からのアドバイスを生かす方法を問いかける。

指導と評価の計画（全7時間）

目標	事実と意見との関係を捉えて読み、自分が興味をもったところを中心に文章を要約することができる。			
評価 規準	(1 知識・技能) 事実と意見とを区別する文末表現の違いや、要約するための叙述の選び方を理解している。 (2 思考力・判断力・表現力等) 自分が興味をもったところに関わる叙述を引用したり、短く言い換えたりしながら、文章を要約している。 (3 学びに向かう力・人間性等) 友達と考えを伝え合いながら、説明的な文章の中から自分の興味のあるところを見付けたり、目的に応じて文章を要約したりしようとしている。			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>
つかむ	1	○説明的な文章の学習経験を話し合ったり、本文の興味をもったところを伝え合ったりして、「自分が興味をもったことを要約して、紹介し合おう」という学習課題をつかむ。	○目的意識をもって文章を読むことができるよう、感想を書くテーマ「興味をもったこと」を提示する。	◇『ウナギのなぞを追って』を読んで、興味をもったところを中心に感想を記述したり発言したりしている <ノート・発言(3)>
ふかめる	1	○要約を行うポイントを話し合い、要約練習をする。	○本文中のキーワードを見付けたり、キーワードをつなげたりしながら要約の方法を身に付けられるよう、既習の説明文を用いて要約練習をする活動を設ける。	◇本文中のキーワードに着目して要約文を作成している。 <ノート(1)>
	1	○自分のテーマに沿って、本文の必要な部分を整理する。	○テーマに沿って本文の必要な部分を整理できるよう、「キーワードを見付ける」「本文の流れを生かしてキーワードをつなげる」という、要約のポイントを観点として提示する。	◇自分のテーマに関わる叙述に線を引いたり、キーワードに印を付けたりしている。 <本文プリント(1)>
	1	○整理したことを基に、自分のテーマに沿って本文を要約する。	○整理したキーワードを基に要約文を作成することができるよう、要約のポイントを示した掲示物を提示する。	◇本文のキーワードをつなげたり、短い言葉に言い換えたりしながら要約文を作成している。 <要約文(2)>
	1	○ペアの友達と要約文のアドバイスをし合う。(本時)	○要約文の妥当性を確かめられるよう、ペアの友達の要約文を読み、要約のポイントを基にアドバイスをし合う活動を設定する。	◇要約文のポイントや本文の内容を関わらせながら、自分の要約文の改善点を発言したり記述したりしている。 <発言・学習プリント(2)>
	1	○紹介文を完成させる。	○紹介文を書くことができるように、「話題提示」「要約」「感想」という紹介文の構成を提示する。	◇構成に沿って紹介文を書いている。 <紹介文(2)>
ふりかえる	1	○紹介文を読み合い、感想を交流する。	○友達の書いた紹介文の構成や内容についての感想をもてるよう、異なるテーマの子ども同士で読み合うグループを編制する。	◇要約文のよさにふれて、友達の紹介文についての感想を交流している。 <発言(3)>